

## ゆいのもり

1995年 7月発行

ゆいのもり社 〒196 昭島市緑町1 10 3 コーポ高野201 ☎0425 45 5451

食工房ゆいのもり 196 昭島市中神1256 森宮中神団地5号1階 42 5160

## 総会報告

六月二十四日(土)午後一時半から、昭和会館に於いて、一九九五年度総会が行われました。梅雨の季節に入りうっとうしい空模様が続いていますが、当日はどうか天気ももって、多数の方達の御出席がありました。御多忙の中をありがとうございます。

さて、今年の総会では、メンバーの意見を反映する形で学習会を企画してみました。メンバーにとって最も関心のあることは、両親が亡くなった後地域の中でどうやって暮らしていけばいいのか、就職の問題はどうすればいいのかなどでした。そこで、それらの問題をどうしたらいいのか、自らも障害者である人に体験談を話してもらおうということになりました。簡単には解決できないことですが、メンバー・家族・地域が共に考えていくための、一つの提案になることを願っています。

## 街の中で暮らそう

障害者当事者の体験から

波多野克行

(東京都精神障害者団体連合会副会長)

高校の時大学受験に失敗して受験ノイロ一せになった。8年後大学に入るまでほとんど家に閉じこもって、昼夜反対の生活をしてきた。精神科医にかかるようになった。その後女性のカウンセラーに会って、カウンセリングを受けることで立ち直るきっかけになった。カウンセリングでは、どんなささいな悩みや不安であっても受け止めてもらえるという安心感がとても大きかった。その間に大学に入った。

卒業後就職を考えたが、既に三十二歳になっていたので難しかった。そこで、手に職を付けたいと思い写植の専門学校に通ってから、小さな写植会社に勤めた。

大学卒業の年には半年程、北区のあゆみ作業所に通った。カウンセラーをしていた人が指導員をしていたこと、生活の不規則を直すためなどで、朝九時から午後三時まで通い、本格的就労に向けて疑似体験ができて良かったと思っている。

病歴については現在の会社には隠している。住んでいる所の回りの人達も知らない。一般的には病歴をあかさず就業している。

勇気を持って心の不安を話すことが大事だし、それを受け止めてくれる職場の雰囲気があれば、就業が長続きしたり、しやすくなると思う。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Q 1、カウンセラーとのかかわりや、どんなアドバイスを受けたか？

(A) 大学の時アルバイトをしたのだが、ストレスが多かったため、そこでのいやな話など聞いてもらった。

人間にはそもそも回復する力があるから、どんな状態の時でも信じて生活していけば回復していけるなどという話しを聞いた。カウンセラーはかって当事者であったので、その人の言葉を心から信じていることができた。

Q 2、今までカウンセラーに接する機会がなかったのだが？

(A) 日本ではアメリカなどに比べて、精神医療の中で一番必要だと思いうカウンセラーというシステム

が、きちんと制度化されていない。国には要望している。

Q 3、多摩地域で自助グループはあるのか？

(A) 隔月でやっているが、参加者が少なく残念だ。

Q 4、精神障害者の中にはフルタイムで働けない人も多いのではないか？

(A) 自分は恵まれている。周りには具合の悪い人も多い。就労で疲れたり解雇されたり、家族と別居したなどの人もいる。会では一人ぼっちの精神障害者を無くそうというところでやっている。退院したくてもできない人、戻れる家族の居ない人もいる。

Q 5、社会に適応する秘訣があったら教えて欲しいのだが？

(A) こちらで聞きたいぐらいだ。自分だけで苦しまないで、人にフランクに話すとよい。100%できなくても、一つの役割をこなせれば良いと思う。人間には心の病もあるということ、他の人がどう思うと、自分は自分であることが大事だ。



国産小麦のパン

食工房ゆいのもり

<メニューの一部>

食パン、ふとうパン、くるみパン

バターロール、チーズクッパ

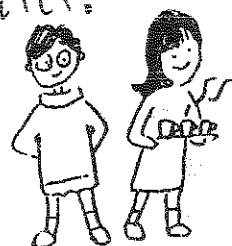
フランスパン、メロンパン他11品

## ◀ 家族懇談会の報告 ▶

4月22日(土)第1回家族懇談会(家族+運送員+中のたまり職員)を行いました。雑談の時にもっとも関心の高かった話しを書きたいと思います。

### ◀ 薬について ▶

- ・病気を理解するためには家族が副作用について知るおいた方がいい
- ・素人考えで薬を減らしたりするのはやめた方がいい。
- ・医者と相談が必要



### ◀ 将来について ▶

- ・1人になっても最低限の生活が出来るように今のうちに外に出して働くようにしたい。
- ・共同住宅(グループホーム)など作ってもらいたい。(兄弟などには面倒を見てもらいたくない。)

他には、一般の人達と接触出来る職場(喫茶コートなど)への期待や、勝手な時間に行き、勝手な時間に帰ってくる不規則な作業所の利用の仕方など、作業所はどう思っているのか、などが出ました。また、このような懇談会をぜひやりたいという意見も家族の方から出ました。

### ◀ 作業所から家族の方へ ▶

- ① 賛助会発足予定について。
- ② 運営委員会に家族の方も将来的には参加して頂きたいと思っています。



(後日談：6月24日の総会にて2名の家族の方が参加して下さることになりました。)

- ④ちなみに昨年度行事参加人数ベスト3は「1位☆一泊旅行(20)  
2位☆ラドンセンターでの忘年会(16)、3位☆キャンプ(15)」  
(桃湖)

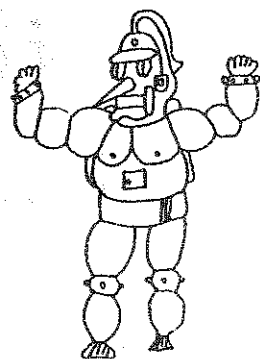
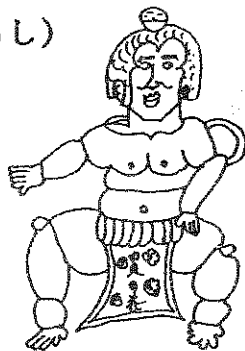
4. ゆいのもり社が休みの時、何をしていますか？

- ・ねている(8)・テレビをみる、ラジオをきく(5)・家事(4)
- ・友人の家に遊びに行く(2)・買い物(2)音楽鑑賞(2)
- ・都内に遊びに行く(2)・ギャンブル(2)・通院(1)
- ・デート(1)・つり(1)

⑤沢田研二のコンサートに行くのが好き(キャロライン)

⑥アクション映画鑑賞と夜遊び(桃湖)

⑦なぜか、子もりと家事!(館ひろし)



初めまして!

ゆいのもり社は精神障害者の共同作業所で平成元年1月に活動を開始しました。私は一人の精神障害者です。精神障害というのは簡単にいえば体の病気があるように心にも病気があることです。この病気は社会に適応できない人が多いです。この病気は治りにくく(治らない人もいます)親が亡くなったら、どうやって生活していけばよいのか?色々な問題があります。私達は健常者の様に働きたい/結婚したい/...と願っている。私達も幸せになりたいのです。私達は自ら病気になったのではありません!私は苦しかった。絶望の経験もあり、死を考えたことも...私達を助けてください!私達は社会にコンプレックスを感じています。差別・偏見・誤解など。私達は困っています。私達の住やすい社会を作ってください。そして、夢と希望を持たせてください。(Y)

## ゆいのもり社メンバー

18人にききました!

ゆいのもり社の活動の内容を利用している人たちがどう考えているかを知るために、アンケートをとりました。その結果をご報告します。

◎・⊙は職員のコメント、( )の数字は、人数です。

1. 今まで行なった作業の中で、好きな仕事は何ですか?

- ・0425おりこみ(6)・ケル清掃(6)・紙袋内職(2)・農作業(2)
- ・ワックス清掃(2)・駅前花壇水やり(2)・ない(2)・きれい(1)
- ・みんな好き(1)

⊙ケル清掃は6年になります。この実績をいかして新しい市役所の清掃ができたらいいな(館ひろし)

2. 週2回の料理づくりのなかで、好きなメニューは何ですか?

- ・カレーライス(6)・ラーメン(6)・焼きそば(5)・お好み焼き(3)
- ・冷やし中華(3)

⊙わたしの好きなメニューベスト3は、「焼きそば、お好み焼き、あじのひらき定食」です。(キャロライン)

3. 月ごとの行事の中で楽しかったものをあげてください。

- ・一泊旅行(8)・バーベキュー(5)・キャンプ(4)・ボーリング大会(4)
- ・花見(3)・ソフトボールの試合(3)・焼き肉食べ放題(2)

パンの作業が終了するのは およそ 1:30 ~ 2:30 ぐらいで、その後は 体カのあるメンバー 1~2名 に 軽作業や洗濯などの 仕事を してもらっています。これらの仕事を 分配して ゆく事を 現在 検討 しています。

★ Ans 2. パン作りが意外と難しかった。

(コメント) 丸め作業や 卵液ぬりなど 見た目には とても 簡単そうに見えるのですが やってみると 難かしい。はじめから できる人はいないので、どうしたら うまくできるか 考えながら やってゆけば 必ず できる様 になります。

★ Ans 3. 工賃がもっともらえたらいいのになあ。

(コメント) 共同作業所はあくまで リハビリテーションが目的であるので、利益追求に走る事はありませんが、工賃がもっとほしいというのは みんなの 願った と思います。無理なく 多くの 仕事ができる様にしたいですね。

★ Ans 4. 中学のころから 将来 ケーキ作りとか やりたい と思っていました。私に合っている仕事だ と思います。

★ Ans 5. 仲良く 仕事を 続けたい と思います。

(コメント) これから も よろしく お願いします。

2年のあゆみを感謝して 所長 嶋田 敦子

「食工房ゆいのもり」の活動がスタートして早や2年、当初6人のメンバーが今では24名に、約30坪のスペースも所狭しといった具合です。

はじめは誰もがドキドキハラハラだったパン作りも、経験するにつれて上手になって、パンのレポートも増え、それぞれのペースで皆が成長できた事を嬉しく思うものです。

開設準備を含めてこの草創期をこのように充実した日々とできたのは多くの方々の物心両面からのご支援によるものです。

そして現在、在籍メンバーの将来や今後の利用希望者の受入などの課題を抱えつつ3年目を迎えています。まだヨチヨチ歩きの作業所ですがチャレンジ精神をもって次のステップを踏み出したいものです。

今後ともお支え下さいますようよろしくお願い致します。



## 食工房ゆいのもり メンバの声

食工房ゆいのもりでは、日ごろ活動をしていて思った事や、工房にはじめて来た時の印象などをメンバー達に聞き、又書いてもらったりしたものをまとめてみました。

Q 工房にはじめて来た時、どんな感じだった？

★ Ans. 1 工場だったのでびっくりした。

★ Ans. 2 狭く感じた。

コメント

工房内は業務用の大型製パン機材がいくつもあって、軽作業中心の作業所とだいぶ様子が違います。工房とは別に今年改装したばかりの休憩室もあるのですが、15名前後のメンバーが入るとやはり狭く感じるかもしれません。

Q、パン作りの作業をして思う事は？

★ Ans. 1 私はもう少し作業時間を長くしてほしいと思います。入所したばかりだから仕方ないと思いますが作業は取り合いですし体がなまります。3時~4時ぐらいまで作業があつたらいいなと思います。職員の方も仲間をわきあけあいとしていて作業所のムードはとても良いと思います。

コメント

上手に仕事を分配する事は、職員の技量の問題もあり、常に工夫と努力をしてゆかなければなりません。難しいのは限られたスペースを有効に利用して仕事を作っていく事です。もうひとつの難しさは、パンには発酵時間、ベンチタイム、ホロ時間があり、これらを見極めながら仕事を割り振ってゆかなくてはならない事です。これからさらに工夫を重ね、みんなが気持ちよく作業ができる様にしてゆきたいと思っています。

